

知人が新型コロナウイルス感染症と 診断された場合の対応について

身近な方から「新型コロナウイルス感染症と診断された」と連絡がありましたら、下記により感染の可能性を確認してください。感染の可能性がある場合は、職場等へ連絡のうえ、自宅待機とご自身での健康観察をお願いします。

① 感染の可能性を確認してください。

➢ 感染可能期間 ※陽性者に症状発現日等を確認してください。

- 陽性者が有症状の場合：症状が発現した日の2日前 令和 年 月 日 以降
- 陽性者が無症状の場合：検体を採取した日の2日前 令和 年 月 日 以降

➢ 陽性者との最終接触日 令和 年 月 日

➢ 感染可能期間中の接触の状況

- お互いにマスクなしで、手が触れる距離で15分以上会話をした
- 陽性者がマスクを着用せず、手が触れる距離で15分以上会話をした

※「会話をしながら食事をした」「換気の悪い場所で長時間を会話した」「マスクを正しく着用していなかった」
これらの場合は、特に感染の可能性が高くなります。

感染可能期間に上記の接触があった場合、感染している可能性があります！

② 感染の可能性がある場合は、自宅待機と健康観察を行ってください。

陽性者との最終接触日の翌日から7日間、

自宅待機のうえ、ご自身での健康観察（セルフチェック）を行ってください。

- ✓ 待機期間中は不要不急の外出を控えてください。
- ✓ 保健所において、PCR検査は実施しません。

なお、すべての濃厚接触者は、4、5日目の自主検査で陰性を確認した場合、5日目から解除が可能です。詳細は「別添⑤ 自宅待機をされる濃厚接触者の方へ」をご覧ください。

③ 風邪のような症状が出た場合は、医療機関を受診してください。

自宅待機中に発熱やのどの痛みなど、風邪のような症状が出た場合、

ご自分で医療機関の受診予約を行い、受診してください。

※受診方法については、「別添⑤ 自宅待機をされる濃厚接触者の方へ」をご覧ください。

④ 最終接触日の翌日から7日間が経過するまで、以下の点にご留意願います。

- ✓ 検温などでご自身の健康状態を確認してください。
- ✓ 高齢者や基礎疾患を有する方との接触は避けてください。
- ✓ 高齢者施設等への訪問、リスクの高い場所の利用や会食等を避けてください。
- ✓ マスクの着用などの感染対策をお願いします。

